

「芦屋市障がいを理由とする差別のない誰もが共に暮らせるまち条例」愛称名最終選考

1 応募状況

募集期間	令和3年9月18日（土）～10月8日（金）					
応募方法	窓口，郵送，FAX，メールまたは応募専用フォーム					
応募者数	76名のべ83作品					
応募区分	居住	35	在学	31	在勤	10

2 選考方法

■委員選考（第1次選考）

各委員が全83作品から5作品を選定し，1位から5位まで順位をつけ，当該順位について，1位（5点），2位（4点），3位（3点），4位（2点），5位（1点）とし点数化。市長及び全委員（オブザーバー含む）計22名から選考された合計点数の高い上位10作品を選考する。

■協議会選考（第2次選考）

第1次選考にて合計点数の高い上位10作品について，本日開催の第2回芦屋市障がい者差別解消支援地域協議会にて，選考（第2次選考）の上，最優秀作品を決定する。

※上位10作品については，別添のとおり。

◎選考いただく際考慮いただきたい点

- ・愛称名の意味・考案理由がなくとも本条例を想像いただけるもの
- ・愛称名に「芦屋市」をつける

★愛称名の一部を変更することについては可能

3 表彰及び公表

令和3年11月28日（日）に開催する芦屋市制施行80周年事業（赤星憲広氏講演会ほか）にて，最優秀作品の公表及び表彰を行う予定。

「芦屋市障がいを理由とする差別のない誰もが共に暮らせるまち条例」愛称名選考【第1次選考10作品】

番号	愛称名	愛称名読み方	愛称名の意味（説明）・考案理由
1	芦屋市優しいまち条例	あしやしやさしいまち	この条例の目的である「障がい差別の解消を推進することで、すべての市民が相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する地域社会を実現する。」をうけ、リーフレットを読んで想像してみました。「実現した芦屋市はどんなまちなのだろう」と市民一人ひとりが優しい心で相手を尊重し助け合って生活するまち、それは「優しいまち」だと感じました。「優」という字には、ほかにも「理想的である」「心がけや態度が立派な様子」といった意味もあり、まさにこの条例の愛称にふさわしいと考えました。
6	あったかハート 条例	あったかはーと	小学2年生の時の学年目標で、学年には基礎学級の子もいたけど、あったかハートを合言葉に積極的に声をかけ手を差し伸べていたから。
10	共にくらすまち 条例	ともにくらすまち	みんなで一緒に仲良く暮らしたいから。
38	障がい者差別をなくす 条例 ー本当の自分らしさは多様性と他 容性の尊重ー	しょうがいしゃさべつをなくす	障がいの多様性を認識してもらい、他者を受容する度量を拡げてもらいたいから。
40	芦屋市「ともに」 条例	あしやしともに	条例の正式名のキーワードは「誰もが共に」だと思います。知的障がいのある人にも、自分を守る条例だということを知ってもらうため、できるだけ、やさしい日本語が良いと考えて、「芦屋市『ともに』条例」を愛称に提案します。
41	障がい者を差別しない共に暮らせるまち条例	しょうがいしゃをさべつしないともにくらすまち	記載なし
45	芦屋市障がい差別のない共生社会条例	あしやししょうがいさべつのないきょうせいしゃかい	記載なし
46	差別の無い街づくり 条例	さべつのないまちづくり	愛称名のとおりそうなればという気持ちで考えました
59	芦屋市障がい差別ゼロ条例	あしやししょうがいさべつぜろじょうれい	障がい差別ゼロの芦屋市になれば、障がいの有無に関わらず誰もが住みやすいまちになると思うから。
61	ハートフル条例	はーとふる	ちょっとした気持ちが誰かを支え誰かを元気づける そんな優しさあふれる芦屋になりますように